

2024年度実施(2025年度入試)調査票

「2025年度における外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試特別措置・特別入学枠等」 調査票 2024年度実施

外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試を応援する有志の会

＜基本情報①(自治体情報)＞

都道府県市名 政令都市・中核都市名	新潟県		
高校入試 担当部署名	教育庁高等学校教育課 指導第1係		
TEL	025-280-5611	FAX	025-285-7998
URL	https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kotogakko/nyugakushasenbatsu.html		

＜基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)＞

調査担当者名	原瑞穂	(所属:東京学芸大学)
--------	-----	---------------

＜全国一覽掲載情報＞

[illegible]

2024年度実施(2025年度入試)調査票

3. 定員の確保がされているか
(3-5の記入欄番号①②から1つ
選択、**枠がない場合は無記入**)

②定員外

②定員外

②定員外

②定員外

②定員外

②定員外

2024年度実施(2025年度入試)調査票

I 全日制高校について

	A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2024年度中について、 当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
2-1.2025年度の一般入試において、 当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場 合は「2-1の備考」に明記	×	×	×
2-1の名称			
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限			
2-3.措置の内容			
2-4.2024年度の入試において、当該の措置で、日本語指 導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			

2024年度実施(2025年度入試)調査票

3-1.2025年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした 特別入学枠 の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		△	△	○
3-1の名称		海外帰国生徒等特別選抜	海外帰国生徒等特別選抜	海外帰国生徒等特別選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記		入学者選抜要項には明記していないが、条件を満たせば受検できる。	入学者選抜要項には明記していないが、条件を満たせば受検できる。	特になし
3-2.滞日年数制限		外国において継続して2年以上在住している者で、次の(1)、(2)のいずれかに該当する者 (1) 原則として令和5年4月1日以降に保護者とともに帰国(入国)して、現在、保護者とともに県内に居住している者 (2) 入学時まで帰国(入国)して居住を予定している者	外国において継続して2年以上在住している者で、次の(1)、(2)のいずれかに該当する者 (1) 原則として令和5年4月1日以降に保護者とともに帰国(入国)して、現在、保護者とともに県内に居住している者 (2) 入学時まで帰国(入国)して居住を予定している者	外国において継続して2年以上在住している者で、次の(1)、(2)のいずれかに該当する者 (1) 原則として令和5年4月1日以降に保護者とともに帰国(入国)して、現在、保護者とともに県内に居住している者 (2) 入学時まで帰国(入国)して居住を予定している者
3-3.入学枠のある学校数／全学校数		72校／72校	72校／72校	72校／72校
3-4.学校名		全学校	全学校	全学校
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)	/		
	②定員外(枠外)	若干人	若干人	若干人
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択		×	×	×

2024年度実施(2025年度入試)調査票

3-7.試験内容	日本語による作文、数学、英語、個人面接(学校、学科によっては、ほかに必要な検査を行うことができる)	日本語による作文、数学、英語、個人面接(学校、学科によっては、ほかに必要な検査を行うことができる)	日本語による作文、数学、英語、個人面接(学校、学科によっては、ほかに必要な検査を行うことができる)
3-8.2024年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、 2024年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入	特になし	特になし	特になし

2024年度実施(2025年度入試)調査票

Ⅱ 定時制高校について

	D.外国人生徒	E.中国・サハリン帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2024年度中について、 当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
2-1.2025年度の一般入試において、 当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の 場合は「2-1の備考」に明記	×	×	×
2-1の名称			
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限			
2-3.措置の内容			
2-4.2024年度の入試において、当該の措置で、日本語指 導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			
3-1.2025年度の入試において、当該項目の生徒を対象と した特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場 合は「3-1の備考」に明記	△	△	○

2024年度実施(2025年度入試)調査票

3-1の名称		海外帰国生徒等特別選抜	海外帰国生徒等特別選抜	海外帰国生徒等特別選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記		入学者選抜要項には明記していないが、条件を満たせば受検できる。	入学者選抜要項には明記していないが、条件を満たせば受検できる。	特になし
3-2.滞日年数制限		外国において継続して2年以上在住している者で、次の(1)、(2)のいずれかに該当する者 (1) 原則として令和5年4月1日以降に保護者とともに帰国(入国)して、現在、保護者とともに県内に居住している者 (2) 入学時まで帰国(入国)して居住を予定している者	外国において継続して2年以上在住している者で、次の(1)、(2)のいずれかに該当する者 (1) 原則として令和5年4月1日以降に保護者とともに帰国(入国)して、現在、保護者とともに県内に居住している者 (2) 入学時まで帰国(入国)して居住を予定している者	外国において継続して2年以上在住している者で、次の(1)、(2)のいずれかに該当する者 (1) 原則として令和5年4月1日以降に保護者とともに帰国(入国)して、現在、保護者とともに県内に居住している者 (2) 入学時まで帰国(入国)して居住を予定している者
3-3.入学枠のある学校数／全学校数		9校／9校	9校／9校	9校／9校
3-4.学校名		全学校	全学校	全学校
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)			
	②定員外(枠外)	若干人	若干人	若干人
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択		×	×	×
3-7.試験内容		日本語による作文、数学、英語、個人面接(学校、学科によっては、ほかに必要な検査を行うことができる)	日本語による作文、数学、英語、個人面接(学校、学科によっては、ほかに必要な検査を行うことができる)	日本語による作文、数学、英語、個人面接(学校、学科によっては、ほかに必要な検査を行うことができる)
3-8.2024年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		有	把握せず	有

2024年度実施(2025年度入試)調査票

その他補足事項

※措置や枠がある地域については、
2024年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項な
どを記入

特になし

特になし

特になし

2024年度実施(2025年度入試)調査票

Ⅲ 高校入学後の状況	
1-1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	有
1-2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	☐ A.教育課程に位置づけられた日本語授業(特別の教育課程、学校設定科目、個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	☐ B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	☐ C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	☐ D.担当教員の加配
	☒ E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	☐ F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用
	☐ G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	☐ H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
	その他の施策
上記に該当する実施校の校数等	令和6年度は、E.、その他の施策ともに、8校
補足事項	特になし
2-1.「1-2のA」において 特別の教育課程 での日本語授業を行っている?	いない
2-2.行っている場合、実施校数、実施高校名	

2024年度実施(2025年度入試)調査票

2-3.行っていない場合、今後、教育委員会として実施計画はあるか？ ある場合は、その実施予定年度、予定高校数など	無	
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入		・ 年齢相当学年より下の学年への受入 ・ 担任または副任に英語科教員を配置 ・ 授業や考査等で漢字にルビを振る ・ 生徒の面談等でスマートフォンの翻訳アプリを利用 ・ 一部の教科・科目の考査について別室受験とし、スマートフォンの翻訳アプリ等を活用しながらの解答を認める
4.2024年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	有	3人
5.2023年度中に、直接来日後による編入学者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	把握せず	

Ⅳ日本国内にある外国学校からの入学について

	↓ 記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受検)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受検)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	①	
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受検)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受検)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	①	

2024年度実施(2025年度入試)調査票

3.上記のⅠⅡ特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在住期間に含むか否か

※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入

含めない

4.外国学校の中等部の卒業生について、2024年度入試において受験(受検)希望があったか

※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」

無

2024年度実施(2025年度入試)調査票

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんだから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること	特別選抜の生徒のみならず、外国から移住した生徒や保護者が外国からの移住者である生徒に対しては、入学後、高校での学びを継続できるような指導支援体制が必要である。授業等に十分に参加できるようなことばと教科の学習、周囲との関係づくり、将来の人生に向けた見通しなどの支援を期待している。学校教育から離れると周囲のサポートが極端に少なくなり、選択肢があることを知り得ず、家族内に留まることが珍しくない。生徒にとって、高校は最後のセーフティネットであることから、日本で生きていく力を養えるよう指導支援体制を作してほしい。
2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など	敬和学園高等学校(新潟市)等において、入学後に日本語指導が必要であると判断された生徒に対して日本語指導が行われている。
3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください	新潟県国際交流協会 https://www.niigata-ia.or.jp/child/ 新潟市国際交流協会 https://www.nief.or.jp/ 長岡市国際交流センター「地球広場」 https://www.facebook.com/nagaoka.chikyu.hiroba/ 柏崎地域国際化協会 http://www.kisnet.or.jp/~kokusai/ 上越国際交流協会 https://www.join-web.net/
4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。	新潟県内の生活相談窓口および対応言語の一覧(新潟県国際交流協会HP内) https://www.niigata-ia.or.jp/child/

2024年度実施(2025年度入試)調査票

5.公立高校入試の特別措置や特別入学枠の設置のこれまでの経緯 ※〇〇年に特別措置が導入された(その内容)、〇〇年に特別措置が改善された(内容)、〇〇年に特別入試枠が導入された(内容)、〇〇年に特別入学枠の校数が〇校になった。…などのこれまでの経過について、わかる範囲で簡潔にご記入ください。詳しい内容が掲載されているホームページがあれば、記載してください。	2010年度高校入試より、特別措置が導入された(中学校長から「特別措置実施申請書」により申請があった場合、漢字にルビを振るなどの具体的な措置の実施が可能かどうかについて、高等学校長と教育委員会が協議して決定)。 2015年度高校入試より、特別入試枠(海外帰国生等特別選抜)も導入された(対象は、海外在住2年以上、帰国・入国後2年以内の生徒。試験は、数学・英語、面接、作文、その他必要な検査を行う学校・学科有)。 全ての公立高校において実施可能とされている。
6.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致します。	新潟県国際交流協会のHPからハンドブックをダウンロードできます。 「国境を越えて移動する子どもたちの教育～保護者の皆さん、支援者の皆さんに知っておいてもらいたいこと」(各国語版) 「帰国・外国人児童生徒の学校受入手引き」(上越市) 「日本の学校について—新潟県の高校への進学など」(各国語版) 「日本語を母語としない児童生徒の為の学校用語集」 ※リンク先一覧 https://www.niigata-ia.or.jp/child/